

## 会員便り

## ● 還暦を迎えて

## 「還暦の箱根湯本温泉 春と秋」

今 寿樹 (昭和55年土木科卒)

時の彩り、移ろいは早いもので、太平山と旭川、中島鉄橋、そして千秋公園と私にとって心のふるさとである秋工土木科を卒業して40余年が経ちました。

高度成長が一段落した昭和52年春の高校入試、当時県内No.1の高倍率だった秋工に何とか入ることができた嬉しさは今も忘れません。秋田魁新報の高校合格者記事一面の丁度真ん中付近に秋工土木科の覧があり、私の名前が一番最後に載っていたことを覚えています。

私はここで、生涯の仕事となる専門科目を学び、生涯の友と出会い、そして、ゆかりの方々に人生の礎をつくっていただきました。卒業後も秋工OBの先輩、上司の方々に大変良くしていただき、昨年、無事に還暦を迎え、年度末に永年勤めた職場を定年退職しました。良くしていただいた沢山の方々に感謝に堪えません。

私は約10年くらい前から股関節や腰の調子が芳しくないため、湯治保養を兼ねて箱根湯本にある温泉宿に行くのが楽しみとなっています。箱根湯本駅や商店街から程近い常宿はお湯も地酒も良く、周囲の風景も良いことから、かねてから、是非、秋工の同級生達と一緒にいきたいと思っていました。平成の終わり頃、まだコロナと言葉もない頃、東京に出張してきた同級生らと品川で一杯やった際、「還暦の年になったら箱根の温泉でお祝いをやりましょう!」となりました。秋田在住の同級生は、箱根は遠

\*\*\*\*\*

いなあとということで首都圏近郊のメンバーに声かけさせていただき、コロナが少し落ち着いた昨年の初夏と紅葉の時期によりやく、箱根の温泉旅行が実現しました。

2022年5月の中旬、ツツジやサツキが綺麗な季節です。(ここ数年、職場の都市対抗野球応援に燃えている)S君と昼下りの小田急新宿発の箱根湯本行きのロマンスカーに乗りました。快適なロマンスカーの中で、周囲に気を配り缶ビールで乾杯です。缶ビールは勿論、サントリープレミアムモルツです。ロマンスカーは多摩川を渡り、相模川を渡り、右手に大山を眺めて小田原そして箱根湯本に到着しました。箱根湯本駅では駅前待合せの(コロナ禍で在宅勤務が長かったという)OT君、(未だに現役ラガーのレジェンド)。OH君と合流し、暫くぶりの再会を喜びあいました。

夕方の温泉街を歩いて、常宿に到着です。アルカリ性単純温泉の箱根湯本の温泉に入り、晩御飯では舟盛り、金目鯛の煮付けも

楽しみました。部屋飲みは地酒の箱根山です。常宿から還暦祝いの赤いチャンチャンコを用意していただき、皆で写真を撮りました。身も心も満たされ、部屋飲み最中には秋田や仙台の同級生に交代交代で電話をかけまくり旧交を温めました。秋田や仙台の同級生達はいきなりの電話でなんともご迷惑だったことでしょうか?

至福の夜を過ごし、翌朝は朝湯を楽しみ、アジの開きを食べ、小田原の老舗蕎麦(秋田の清水水を楽しみました)、NHK大河ドラマ鎌倉殿の舞台となった小田原城を観光し、小田原駅で解散しました。

紅葉の11月中旬には前回5月の還暦温泉旅行と同じメンバー、ほぼ同じような行程で箱根の常宿で前回参加出来なかった(未だに文武両道の好青年然りとした)M君を加えて還暦祝いをやりました。夕方の温泉は紅葉の早雲山や早川が間近に眺えて風情有りました。前回同様、皆で生ビール乾杯し、季節の料理を楽しみました。M君用に赤いチャンチャンコや赤い帽子を用意していただき、部屋飲みではM君差し入れの八郎瀧のつくだ煮を肴に盃が進み、間近に迫った花園の話題に花が咲きました。

やっぱり冬が近くなると私達の話は秋工ラグビーです。2ヶ月後の花園で秋工ラガーは2年振りのベスト16に入る活躍を見せてくれたことは言うまでもありません。

翌日は小田原の蕎麦を楽しみ、JR東海道線→横須賀線で鎌倉へ。NHK大河ドラマの鎌倉殿の舞台となった鶴岡八幡宮に参拝し、小町通りの喫茶で似つかわしく?スイーツをいただきました。日曜日で空いている横須賀線の車内では、近未来の夢を語り合い東京駅で解散し、またの再会を約束しました。

秋工を卒業して約40余年の歳月が流れました。秋田は在学中とは気候も変わり、街の風景も随分変わりました。

一方で、私にとって、心のふるさとであり、頑張る力の源でもある「秋工」は不変です。感謝以外にありません。たまあーにあう秋工同級生との時間は、やっぱり、私には至極の如く宝物でありました。「皆、ありがとう!」「へば、まだ、いぐべ!」



## 宝石・貴金属 専門店



## 伊藤貴金属店

TEL 018-862-2761  
FAX 018-864-8612

代表取締役 赤塚 京二 (昭和40年土木科卒)